

NPO 法人

奈良21世紀フォーラム会報

2011年新春号

年頭のご挨拶

奈良21世紀フォーラム理事長 森本公誠

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には新春を迎えられて、益々ご清祥のことと心からお慶び申し上げます。昨年は平城遷都1300年という記念すべき年に当たり、奈良県にはしばらくぶりに大勢の人々が訪れました。当NPO法人でも記念事業に参加すべく、聖武天皇・光明皇后御礼服復元制作の監修、天平衣裳による万葉けまりの復元、書道の活性化の一環としての大仏さんにラブレターなど、さまざまな行事が企画され、担当者や会員の皆様の鋭意努力によって、当法人の活動の一端が一般の人々にも周知されるよい機会となりました。



むろん、昨年は記念の年だからこれで済んだということでは、ただ一過性の行事で終わってしまいます。やはり仕切り直しの意味を込めてなり、なんらかの形を変えてでも、継続してこそこれらの事業の意義が活かされていきます。よく観光事業に携わっている方々から、来年、つまり2011年の人出が心配だという声を聞かされたものです。しかし心配よりも、どうすれば恒常的に人々に来ていただけるか、地元の者が集まり知恵を出し合うことがまず先決なのでしょう。

当法人でもよく似たことは言えるのではないのでしょうか。当法人の活動はいかにあるべきか、今年は改めて知恵を絞り出す年のように思えます。会員の皆様もどしどしご意見をお寄せいただいて、奈良21世紀フォーラムの活動を盛り上げて下さるようお願いし、新年のご挨拶と致します。

事業の活動状況

1. 聖武天皇と光明皇后の御礼服復元事業

当フォーラムが復元を提言し、近畿日本鉄道が復元制作する聖武天皇と光明皇后が朝賀の儀で御召しになられたと伝えられる御礼服一式の監修に森本理事長、猪熊理事及び武部委員が担当して完成しました。平成22年10月14日東大寺大仏殿にて光明皇后1250年遠忌法要に披露し、併せて奉納行事が執り行われました。



2. 「万葉けまり」の復元事業

(1) 天平様式の衣装の製作

平城遷都1300年祭「古代行事の再現・蹴鞠」の出演にあたり、天平時代の華やかな雰囲気を出すため朝服をきてプレーすることとしました。また、衣装には兵士の気分で裨褙と言われる胸当てを着けゼッケン代わりとしました。なお、衣装は森本理事長、猪熊理事の時代考証により製作しました。



(2) 平城遷都1300年祭県民活動支援事業としての展開

①平成21年10月31日・11月1日 奈良公園登大路園地での披露



両日は「正倉院展」「興福寺国宝特別展」で賑わう奈良公園での披露、訪れた観光客に万葉けまりのルールや復元経緯をまとめたリーフレットを配布しました。

②平成22年3月28日「奈良県まるごと歴史体験博」しきフェスティバルで披露



田原本北小学校で開催され、ゲストに元Jリーガーで奈良県出身の西野努さんを迎え披露しました。また、観客に飛び入りで蹴鞠の体験をしていただきました。

③平成22年8月28日 大阪長居球技場（キンチョウスタジアム）で披露



Jリーグ21節セレッソ大阪VS大宮アルディージャのゲームに先立ち、演技者としてサッカー元日本代表 森島寛晃さん外3名をゲストに迎え披露しました。当日は遷都1300年記念事業協会から“せんとくん”も応援に駆けつけPRに努めました。

④平成22年10月17日 東大寺大仏殿前庭で披露



光明皇后1250年遠忌法要の慶讃行事として、多数の参拝者で賑わう大仏殿中庭で披露しました。当日は参拝者にも飛び入りで蹴鞠の体験をしていただきました。

